



大門小だより

4月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子

令和3年4月7日
横浜市立大門小学校



学校生活の中で学ぶもの

校長 能登 正明

満開だった桜もきれいな新緑に変わり、令和3年度がスタートしました。3月に卒業生が小学校を巣立っていたことが、ずいぶんと前のような気がします。

今年度も、たくさんの新入生や新しい教職員を迎えました。子どもたちの笑顔大切に、子どもたちが意欲をもって進んでいけるように頑張っていきたいと思います。

昨年度はまさに「異例」なことばかりだった一年間でした。例年行われていた学校行事や体験活動が変更や中止となり、計画通り行うことが十分にできませんでした。

しかしその中で、昨年12月に6年生は1泊2日の日光修学旅行に出かけることができました。今あらためて卒業アルバムの写真を見てみると、東照宮や宿舎の中で楽しく過ごしている子どもたちの笑顔がたくさん写っていました。その表情を見ると、日光修学旅行という行事が、子どもたち自身がとても大切にしている行事であり、学校生活の中で思い出に深く残る行事であるということを、再認識しました。

昨年度は、どうしても教科の学習をどう達成していくかが大きな課題でした。しかし、教科学習以外の学校行事や校外学習、委員会やクラブ、普段の休み時間など、子どもたちの日常の学校生活をどう充実させていくか、ということも大切なことです。学習以外の時間に友達とのかかわりを通じて学ぶことも、今の子どもたちにとって成長のために欠かせないことです。

コロナ禍の中で「当たり前」の大切さが見直されています。学校が学習の場であると同時に子どもたちの生活の場であることを再認識し、日々の学校生活の大切さについてもあらためて充実していけるように考えていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の流行はまだ収まってはいません。年度途中で感染拡大することも十分に考えられます。今年度も状況によって、学校行事や教育内容等の変更や中止という判断をしていくこともあると思います。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、感染防止対策を徹底して令和3年度の学校運営を慎重に進めていきたいと思っております。

そして何よりも、子どもたちが笑顔で友達や家族、地域の人々とともに成長していけるよう、教職員一同力を合わせて指導・支援に取り組んで参ります。今年度も、保護者や地域の皆様のあたたかいご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。